

# 稚内市立稚内中学校

【生徒数 100名】



## 【目標】

- ・運動意欲・運動習慣の定着をめざして

## 【目標達成のための取組と結果】

稚内中学校では、2年前の全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動やスポーツをすることが好き」、「運動やスポーツは大切である」と回答した生徒が、20～30ポイントも全国平均を下回る結果であった。そのため、昨年度から生徒の運動に対する意欲を高め、生涯にわたって運動に親しむ習慣を身につけさせるため、次のことを意識して取り組んできた。

- ① 授業の中で、助け合う・話し合う活動を多く取り入れ、仲間と楽しく学び合う雰囲気を作った。稚内中学校では、教育活動全体を通して「学び合い」活動を取り入れ、仲間に聞いたり、アドバイスをしたり、仲間と共に考え学び合うことで学力向上を目指している。そのため、徐々に運動に対する意識が向上してきており、今年度の調査結果では、「運動やスポーツをすることが好き」で男子は全国平均より1ポイント低かったものの、女子では17.4ポイント上回った。また「運動やスポーツは大切である」では、男子は、ほぼ全国平均並み、女子では14ポイント上回った。さらに、「体育の授業が楽しい」と回答した生徒は男女とも16ポイント上回った。
- ② 土曜授業で親子スポーツレクを実施した。運動が苦手な人でも気軽に参加できるミニバレーボールで保護者も交えて楽しく交流を図った。これをきっかけに、「スポーツで全校の繋がりを深めよう」と、2学期の終わりに生徒会が全校スポーツレクを企画し、みんなで身体を動かす機会を作ることにつながった。
- ③ 「稚内市子ども芸能祭（南中ソーラン）」や「稚内市平和マラソン大会」などの市の行事へ全校で参加した。この参加により、毎日練習に取り組むことで体力の向上を図り、最後まで粘り強く取り組む姿勢などが向上している。調査で「最後までやり遂げてうれしかったことがある」と回答した生徒は86%にのぼり、全国平均を10ポイント以上、上回った。

「1週間の総運動時間が0分」と回答した生徒を昨年度と比較すると、男子で7.7%→0%、女子で25%→7.7%と大幅に減少しているのも特徴的である。今後も、みんなで楽しく気軽に運動できるような活動を取り入れながら、運動意欲や運動習慣の定着を図っていきたい。

